

令和8年度 入学者教育課程表

A 表

(表面)

教育局 石狩

北海道札幌東豊 高等学校 全日制課程

学科 普通科

第1学年の
学級数

2

教科	科目・標準単位数	学年	1 年	2 年	3 年	計
		類型				
国 語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語	4		2	2	4
	文学国語	4		2	2	4
	国語表現	4				
	古典探究	4				
	○国語基礎	1	1			1
	○実用国語	3			3	0~3
地理 歴史	地理総合	2	2			2
	地理探究	3				
	歴史総合	2	2			2
	日本史探究	3			3	3
	世界史探究	3				
公 民	公民	2		3		3
	倫理	2				
	政治・経済	2			2	2
数 学	数学Ⅰ	3	4			4
	数学Ⅱ	4		4		4
	数学Ⅲ	3				
	数学A	2			3	3
	数学B	2				
	数学C	2				
	○数学基礎	1	1			1
	○数学課題探求	2		2		0~2
○実用数学	3			3	0~3	
理 科	科学と人間生活	2				
	物理基礎	2				
	物理	4				
	化学基礎	2	2			2
	化学	4				
	生物基礎	2			3	3
	生物	4				
	地学基礎	2		3		3
地学	4					
○実用科学	3			3	0~3	
保 健 体 育	体育	7~8	2	2	3	7
	保健	2	1	1		2
	○スポーツA	2		2	2	0~2
	○スポーツB	3			3	0~3
芸 術	音楽Ⅰ	2	2			0~2
	音楽Ⅱ	2		2		0~2
	音楽Ⅲ	2			3	0~3
	美術Ⅰ	2	2			0~2
	美術Ⅱ	2		2	2	0~2
	美術Ⅲ	2				
	工芸Ⅰ	2				
	工芸Ⅱ	2				
	工芸Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2	2			0~2
書道Ⅱ	2		2		0~2	
書道Ⅲ	2					
○美術表現	3			3	0~3	
○生活の書	3			3	0~3	

A 表

(裏面)

高等学校	全日制課程
------	-------

学科	
----	--

教科	科目・標準単位数	学年 類型	1 年			2 年			3 年			計	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3									3	
	英語コミュニケーションⅡ	4				3			2			5	
	英語コミュニケーションⅢ	4											
	論理・表現Ⅰ	2											
	論理・表現Ⅱ	2											
	論理・表現Ⅲ	2											
	○ 実用英語	2				2						0~2	
	○ 英語基礎	1	1									1	
家庭	○ 英語ベーシック	3							3			0~3	
	家庭基礎	2											
情報	家庭総合	4				2			2			4	
	情報Ⅰ	2	2									2	
商業	情報Ⅱ	2											
	課題研究	3							3			0~3	
	○ 文書処理演習	2				2						2	
	情報処理	3							3			0~3	
理数	○ ソフトウェア基礎	2				2						0~2	
	理数探究基礎	1											
	理数探究	2~5											
各学科に共通する各教科・科目の計			27			24~26			22~28			73~81	
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0			2~4			0~6			2~10	
学校設定教科に関する科目の計			0			0			0			0	
総合的な探究の時間 (とうほうタイム)			3~6			2			1			1	4
合計			29			29			29			87	
特別活動	ホームルーム活動		1			1			1			3	
教育課程に係るその他の事項													
卒業までに修得させる単位数			87 単位			卒業に必要な履修と修得の単位数			1 分離している ○ 2 分離していない				
学期の区分			○ 1 3学期制 ○ 2 2学期制			学期の区分ごとの単位修得の認定			1 実施している ○ 2 実施していない				
1 単位時間の弾力化			○ 1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] 3 いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()										
学校外における学修の単位認定			○ 1 実施している (①) 2 実施していない										
総合的な探究の時間の実施方法			○ 1 週時程に位置付けて実施する。 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。										
備考			・芸術において、Ⅱを付した科目は、Ⅰを付した科目の履修後に履修し、Ⅲを付した科目は、Ⅱを付した科目の履修後に履修する。										

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。